
池田市における バリアフリーマスタープランの検討について

池田市 都市整備部 交通道路課



池田市 Ikeda City

- 池田市は大阪府の北部、都心（大阪・梅田）から約20分の都市
- 北には五月山、南には大阪国際空港があり、南北に細長い地形



いけだMAP



観光スポット

カップヌードルミュージアム 大阪池田



池田市観光大使に
就任しました！



インスタントラーメンは池田市で生まれた!!

五月山動物園



ウォンバットの繁殖で有名な動物園！！

目次

1. 策定の背景・目的
2. 現状・課題把握（各種調査）について
3. 意見の整理
4. 位置づけた取り組み等の内容

1. 策定の背景・目的

- ・ H18に池田市交通バリアフリー基本構想を策定
- ・ 鉄道駅周りの道路を含む重点整備事業を位置づけ

基本構想の概要

- 交通バリアフリー法（H18）に基づく基本構想

【目的】公共交通機関を利用した移動の円滑化

- 池田・石橋両駅を中心とした重点整備事業を実施

【概要】鉄道駅、駅前広場、道路、交差点のバリアフリー化

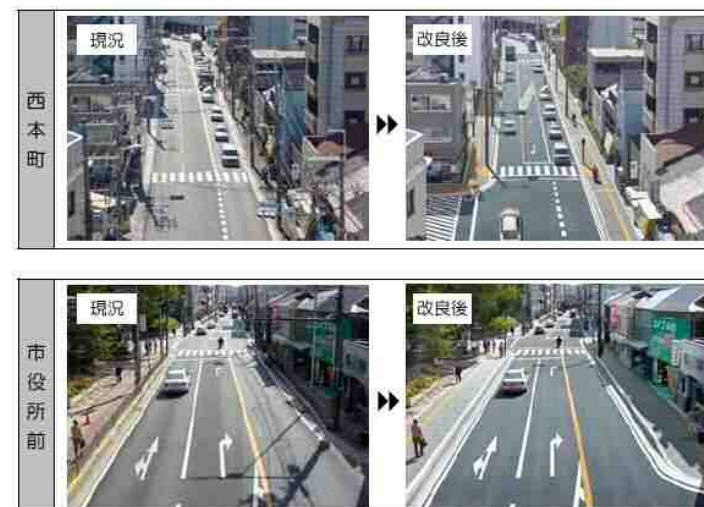
- 心のバリアフリーの取組みを位置づけ

【概要】自転車問題、ボランティア、バリアフリー教室開催

▼バス低床車両イメージ



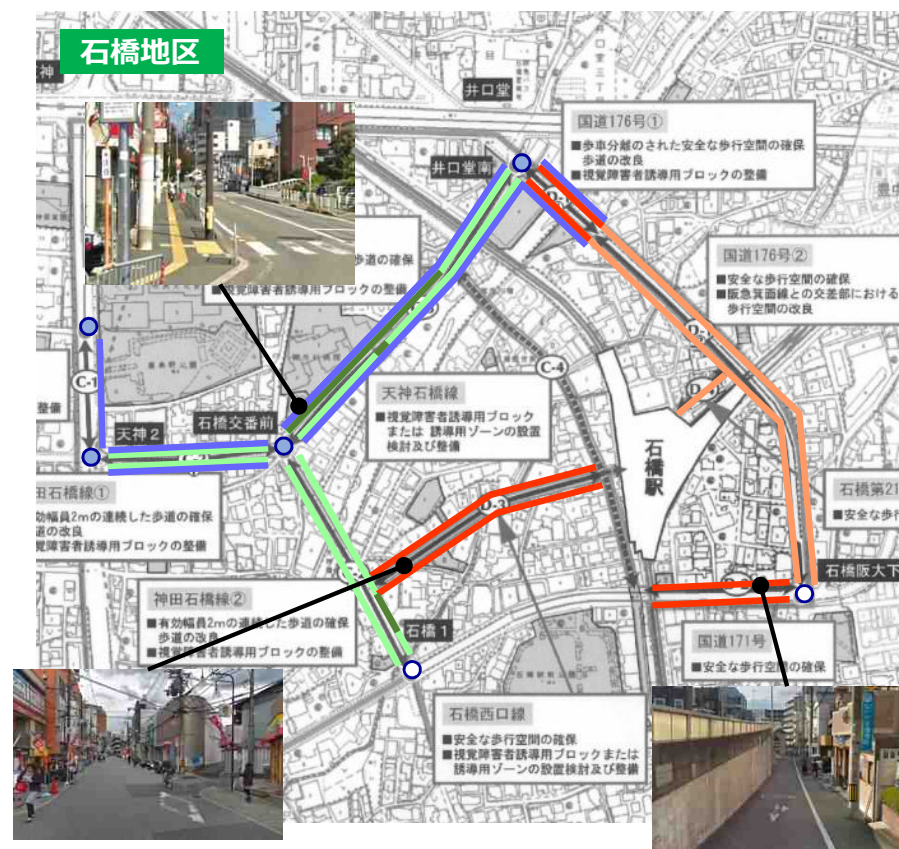
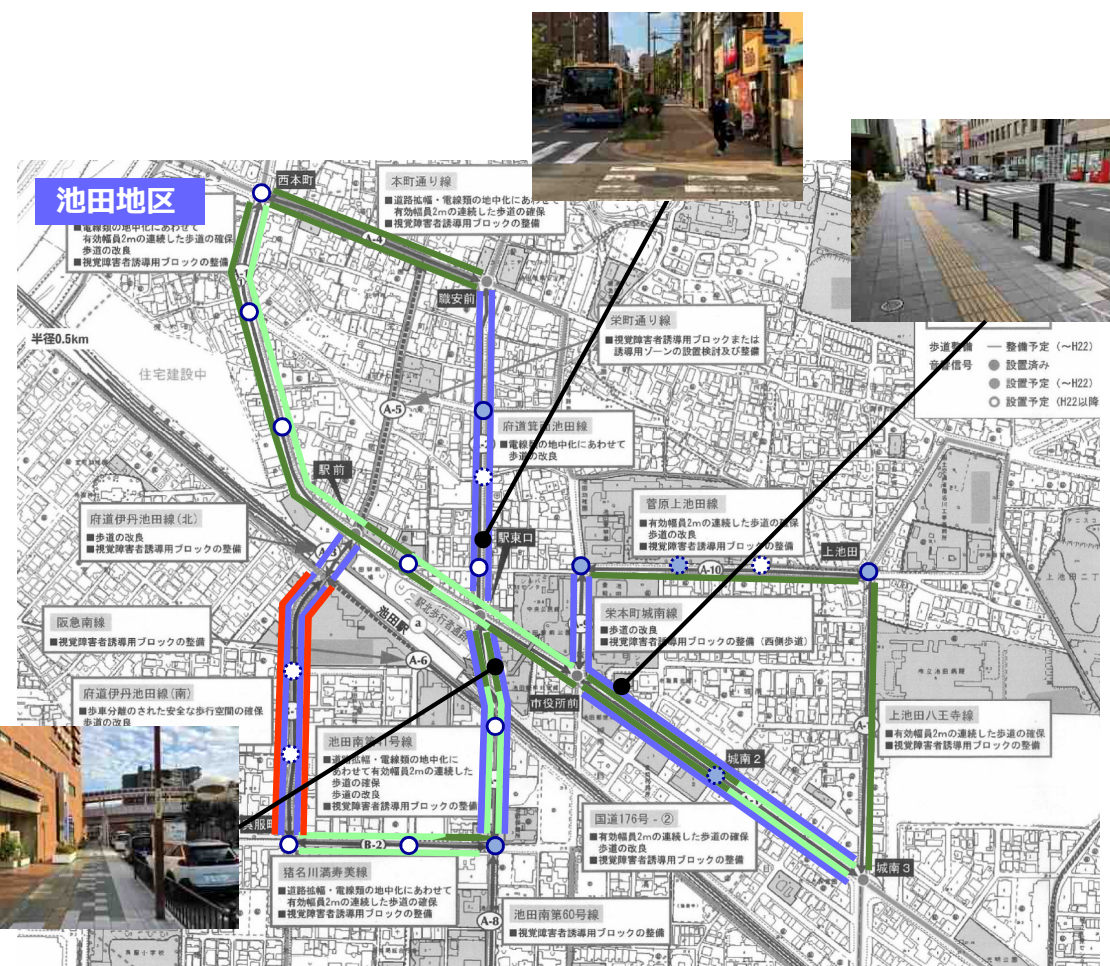
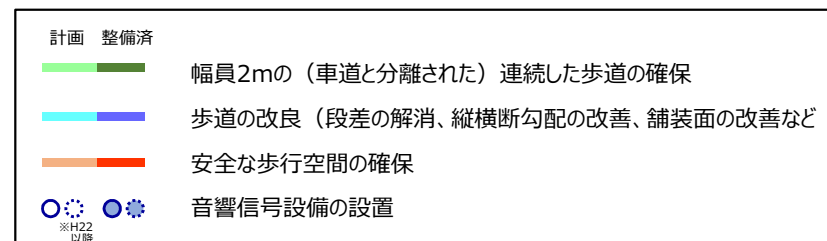
▼国道176号の整備イメージ



1. 策定の背景・目的

- ・一定の取り組みを実施したが、道路の狭さ等、色々な制約で整備が進まない所も
- ・一方、昨今の技術開発により、新たな手法で対応できることも
⇒方針から、何ができるか・どこから進めていくべきかを再整理
⇒法律改正を機に、マスタープランを検討

幅員2mの連続した歩道の確保・歩道改良の状況



2. 現状・課題把握（各種調査）について

- ・国のガイドラインも踏まえ、街歩きを再度して意見交換を想定
 - ・有識者からのアドバイス：マスタープランなので、個別具体的問題把握ではなく、何を指すべきか、そのために何が課題かを検討するための調査とすべき
- ⇒当事者の生活・移動等の実態・意見把握のための調査を幅広く実施

委託業務仕様の内容（現状調査部分）

当初発注時	調整後
（１）現状整理 池田市の人口、高齢者数、障害者数の状況、鉄道駅など多くの高齢者や障害者等が利用する生活関連施設の分布状況等を把握する。 また、これまでのバリアフリー化の取組（ソフトを含む）を整理するほか、バリアフリーのまちづくりに関する上位・関連計画を整理する。 （２）タウンウォッチング 池田地区、石橋地区を対象として、障害者、高齢者、子ども連れの方など当事者が普段感じている様々な制限による問題点を把握するためのタウンウォッチングを実施するものとし、その運営支援として、プログラムの企画、資料の作成、進行補助、結果のとりまとめを行う。 （３）当事者アンケート さまざまな当事者からの意見聴取を実施する。受託者は、調査票の作成、配布、回収、印刷、調査結果の集計及びとりまとめを行う。（1,000部）	（１）現状整理 池田市の人口、高齢者数、障害者数の状況、鉄道駅など多くの高齢者や障害者等が利用する生活関連施設の分布状況等を把握する。 また、これまでのバリアフリー化の取組（ソフトを含む）を整理するほか、バリアフリーのまちづくりに関する上位・関連計画を整理する。 （２）関係団体ヒアリング 高齢者や障害者、妊産婦等の当事者に係る支援等を行っている団体を対象に、当事者の状況や普段の行動、課題などを把握するためのヒアリングを行う。 なお、障害者の支援団体に対するヒアリングについては、身体障害、精神障害、発達障害等の各種障害区分を網羅できるようにするとともに、支援団体の活動について現地を訪問し、実施状況や取組の工夫などについても把握すること。 また、ヒアリング実施時に、当該団体に参加している当事者等に対するアンケート調査の可否や、可能な場合の⑧実施方法などについても検討・調整を行うこと。 （３）当事者アンケート さまざまな当事者からの意見聴取を行うための⑨アンケートを実施する。受託者は、調査票の作成、配布、回収、印刷、調査結果の集計及びとりまとめを行う。（1,000部） 各当事者別（子育て世代、高齢者、身体障害者、視覚障害者、外国人）へのアンケートに変更

2. 現状・課題把握（各種調査）について

- ・各当事者の行動実態や困りごとを把握するための、団体ヒアリング、アンケート調査を実施

ヒアリング・アンケート実施概要

■目的

- ・障がい者や高齢者、子育て世代等の立場から、市内での行動・活動の頻度や方法等や、困りごと・問題点、考え等
⇒バリアフリー化を進める上での課題等を整理

■実施方法

- ①障がい者や高齢者、妊産婦等の支援や関連する活動を行う団体に対するヒアリングにより、当事者の状況や課題等を聞き取る
- ②その上で、高齢者や妊産婦等、身体障がい者など、直接意見を伺うことのできる方々に対しアンケート

区分	ヒアリング実施団体	アンケート調査実施
①身体障がい	身体障害者福祉会 身体不自由児父母の会	・郵送配布／回収94票
②視覚障がい		・委員より紹介いただき実施／実施中
③知的障がい 精神障がい 発達障がい	手をつなぐ親の会 池田市立やまばと学園 一般社団法人R.E.A.D.D Sunはーと石橋	—
④高齢者	友愛クラブ連合会	・ふれあいサロン利用者へ配布／回収56票
⑤妊産婦等	子育て支援団体リズムサークルひよこ	・子育てサロン利用者へ配布 ・保育園を通じて配布
⑥外国人	—	・国際交流センター来訪者／実施中

2. 現状・課題把握（各種調査）について

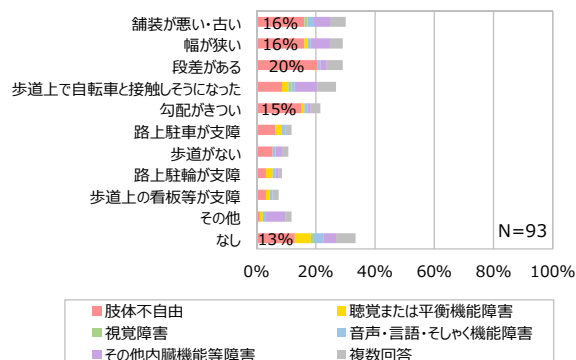
参考 身体障がい者-アンケート結果

■移動や施設等で困ること

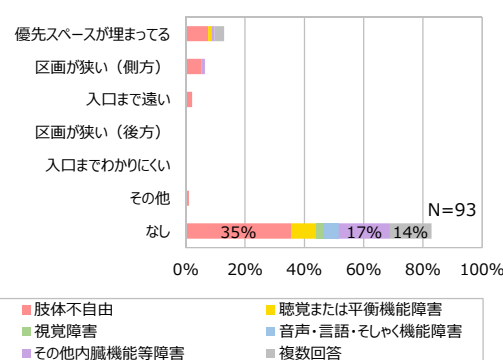
- ・道路・歩道を挙げる人が多い。特に舗装の悪さや幅の狭さ、段差等の指摘が多い。施設入口の段差、障がい者駐車場埋まっている等の指摘も多い。障がい者自身の自立についての記載もみられる。

▼移動や施設等で困ること

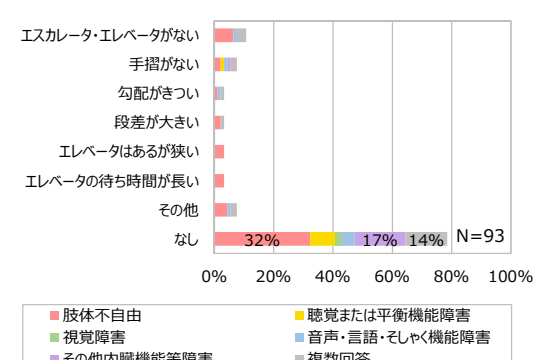
<道路・歩道>



<駐車場>



<階段・エレベータ>



○R176 鉢塚地区（2名）

- 歩道がない、幅が狭く段差がある
- 舗装が悪い・古い
- 歩道上の看板等、路上駐車・駐輪が支障
- 歩道上で自転車と接触しそうになった

○石橋駅・石橋プラザから巽病院（2名）

- 幅が狭く、勾配がきつい（手足が不自由で歩行器のブレーキが使えない）
- 舗装が悪い・古い（舗装がよい所をさがして方向転換するため、自転車等とぶつかりそう）

○FM池田荘園東店～ネットヨタ池田店（1名）

- 舗装が悪い・古い

○R171ファミリーマート池田住吉1丁目店前（1名）

- 車が出るときミラーがなくて危険

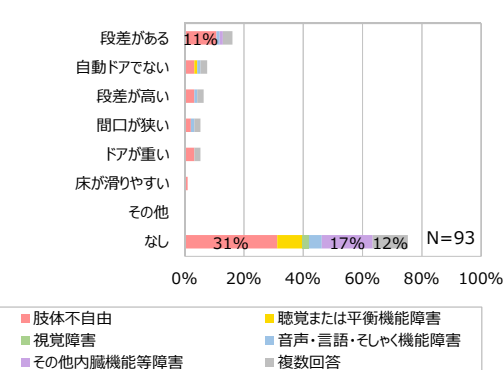
○商店街（1名）

- 歩道上で自転車と接触しそうになった

○R423 吉田橋周辺（1名）

- 幅が狭い（樹木が歩道を覆っているため）

<施設入口・通路>



<その他>

- ・ベンチ等すわれる所がもっとたくさんあると助かる。
- ・身障者側にも甘えが多すぎると思う。もう少し自立して欲しい。タクシーで行くと代金が必要だから救急車を使う様にいわれ驚いたことがある。身がい者の教育も必要であると思う。

○阪急池田駅（1名）

- エスカレータ・エレベータがない（上りのみの設置）

○五月山児童文化センター（1名）

- 勾配がきつく、手摺がない
- エスカレータ・エレベータがない

○阪急オアシス石橋店

- エスカレータ・エレベータがない

○ばんまい（鉢塚三丁目）（1名）

- 勾配がきつく、手摺がない
- エスカレータ・エレベータがない（上りのみの設置）

○緑のセンター（五月山緑地都市緑化植物園内）

2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 身体障がい者-アンケート結果

■公共交通で困ること

- ・電車では利用者が比較的多いが、エレベータの利用等で困ったと回答している人も多い。
- ・いずれの手段も、乗務員や乗客に迷惑がかかることを気にして利用しない人が多い。
- ・福祉バスは、使い方などが分からないという意見が多く、利用している人が少ない。

▼公共交通で困ること

	電車	バス	タクシー	福祉バス
利用時に困ったこと	エレベータが混んで時間が掛かった 混んでいて乗れなかった ホーム上で人にぶつかった その他 なし N=45 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・しんどい時にすわれない。 ・朝の通勤ラッシュ人多すぎ。 ・アナウンスが聞き取れない。 ・駅員少ないためスロープを持ってくるのが遅い。	乗車を断られた 混んでいて乗れなかった スロープに手間取っていた 車内で転倒した その他 なし N=32 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・スロープなどで手助けしてもらっている ・手荷物を上に乗せられない。車の振動もあり立っていて痛む。 ・途中から車椅子の人が乗車されて立たされた。歩行器対応もして欲しい。	乗車を断られた 車いす対応タクシーが見つからない 車椅子等が乗せられなかった その他 なし N=24 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・電動なため断られる。	他の乗客にクレーム等を言われた 席が空いておらず乗れなかった 席を指定された その他 なし N=3 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・障害者の席はほとんど元気な高齢者。 ・買物の帰りは前に座りたいが空いていない ・ある時初めて利用したら、いつもそこに座る人にすごいや顔をされ、場所を変えた ・電動車椅子なため断られると思っている
利用しない理由	駅員や他の乗客に迷惑をかけそう 駅までの移動が困難 混んでいると乗れない その他 N=7 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・ホームと電車の距離。	駅員や他の乗客に迷惑をかけそう 混んでいると乗れない 車内の揺れが大きい その他 N=12 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・不便な為。 ・車高が高くて乗れない。	乗務員に迷惑をかけそう 車いす対応タクシーが少ない 車両の指定ができない その他 N=12 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・折り畳み式電動車いすに乗っているが、運転手だけでは重くてトランクに積めない。	補助器具で場所をとってしまう 他の乗客に迷惑をかけそう 席が空いてないことがある その他 N=16 ■ 肢体不自由 ■ 聴覚または平衡機能障害 ■ 視覚障害 ■ 音声・言語・そしゃく機能障害 ■ その他内臓機能等障害 ■ 複数回答 ＜その他の記載＞ ・乗ったことがないのでわかりません ・何処が路線か不明 ・使い方がわからない

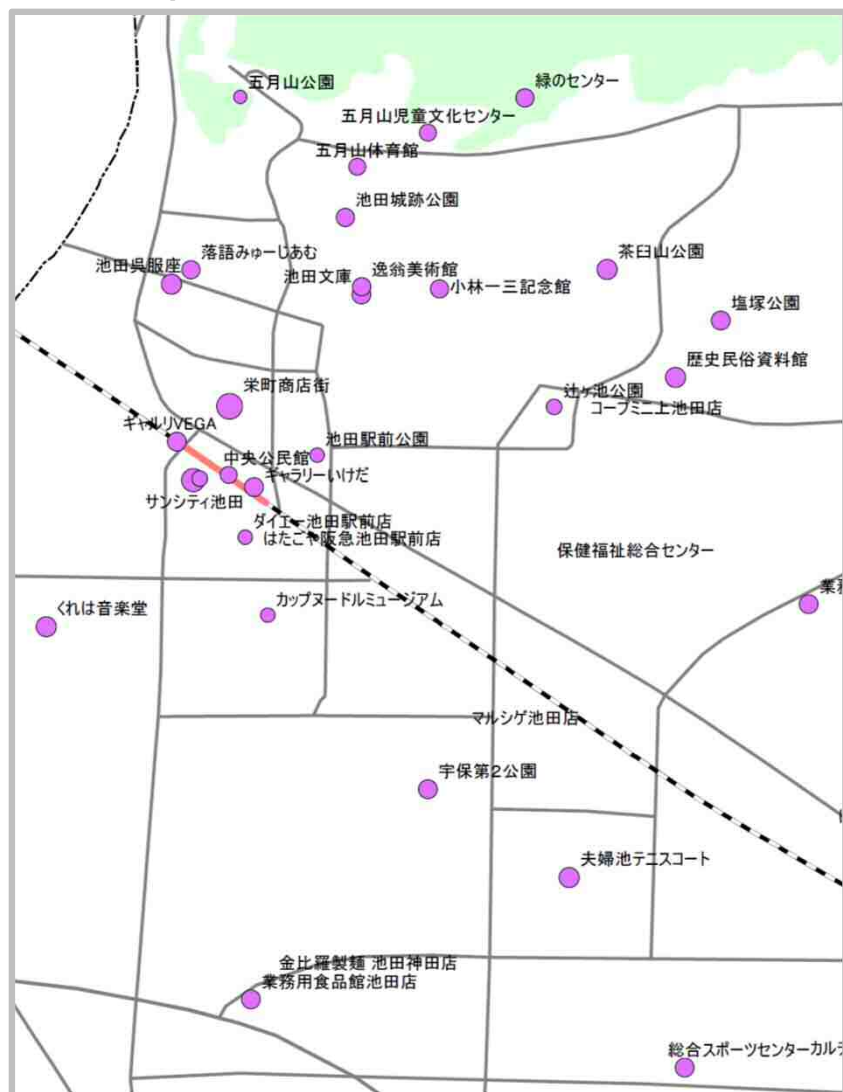
2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 身体障がい者-アンケート結果

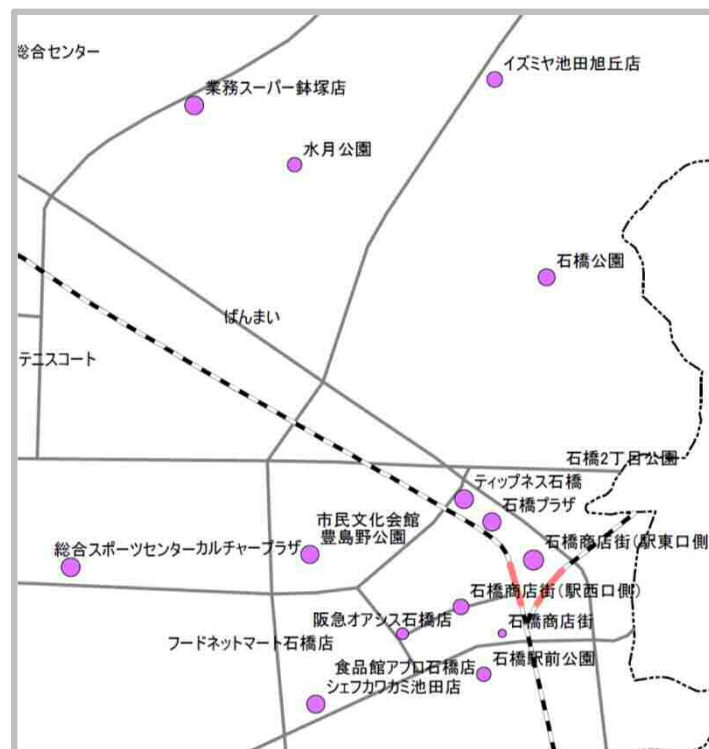
■あきらめている箇所

- ・あきらめている箇所も、池田駅、石橋駅周辺の商業施設の利用が多くなっている。

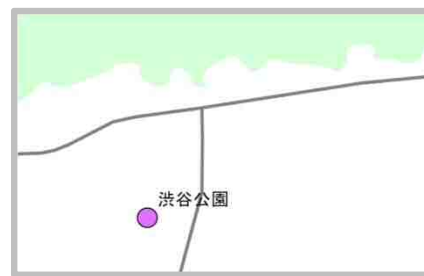
▼池田地区



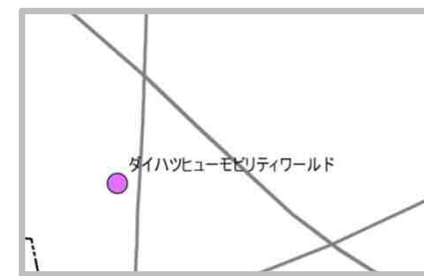
▼石橋地区



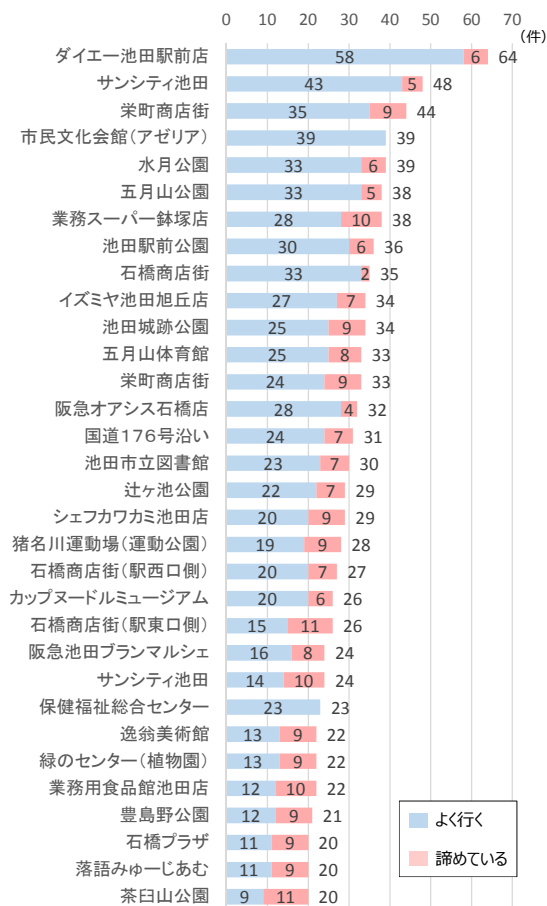
▼渋谷地区



▼ダイハツ町地区

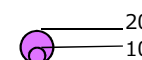


参考：「よく行く」と「諦めている」の状況



※回答が20件以上あった施設を抽出

凡例



2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 視覚障がい者-アンケート結果

■ 移動や施設等で困ること

- ・道路・歩道では、自転車との接触や幅の狭さ、点字ブロックの不足、歩道内の障がい物等、多くの課題が挙げられている
- ・横断歩道では、歩車分離での接触や、信号がない、見えにくいことへの指摘が多い
- ・施設については、入口が分かりにくいことや、施設内に点字ブロックがないことなどが挙げられている

▼ 移動や施設等で困ること

道路・歩道	横断歩道	出入口・通路
歩道上で自転車と接触しそうになった 80% 幅が狭い 60% 段差がある 60% 路上駐輪が支障 40% 路上駐車が支障 40% 歩道がない 40% 歩道上の看板等が支障 20% 舗装が悪い・古い 20% 段差がない 20% 勾配がきつい 20% これ以外 40% なし 0% N=5 ※複数回答	歩車分離のため 人や自転車と接触しそうで危険 60% 信号がない 20% 歩車分離なので安全 20% 横断距離が長く 一度で渡れない 0% 青信号が短い 0% 待ち時間が短い 0% これ以外 80% なし 0% N=5 ※複数回答	入口がわかりにくい 20% 自動ドアでない 20% 自動ドアの押しボタンが探しにくい 20% 段差がある 0% 段差が高い 0% 間口が狭い 0% 床が滑りやすい 0% ドアが重い 0% これ以外 80% なし 20% N=5 ※複数回答
<主な内容> ○池田駅 ダイエー～ミスタードーナツ前の歩道 →歩道上で自転車と接触しそうになった →路上駐輪が支障 →歩道上の看板等が支障（柱や車止めにぶつかる） ○池田駅ステーションNのエレベーター周辺 →階段がある、段差がある ○石橋阪大前駅 マクドナルド石橋店前 →路上駐輪が支障 ○R176号 池田駅から石橋駅の間の歩道 →段差がない（歩道と車道の境がわからない） →車道の手前に点字ブロックがない（車道に出てしまう） ○秦野小学校の西側の道路・歩道 →街路樹を避けて通ると溝の蓋ががたがた ○渋谷高校周辺の南北の道路・歩道 →歩道上で自転車と接触しそうになった	<主な内容> ○池田駅 ミスタードーナツ前の横断歩道 →信号がない ○石橋阪大前駅 石橋交番前の横断歩道 →電柱の後ろに信号があり、見づらい ○R176 池田市役所交差点 →歩車分離のため対角線方向に横断する人や自転車と接触しそうで危険 →横断歩道の白線端部と歩道上の柵の位置があっていない（白線に沿って歩くが歩道に上がれずに困ったことがある） ○その他（具体的な場所の記載なし） →歩車分離は、夜間は、赤で車が停止して静かなのか、青だが車が通っていないから静かなのかの判断がつかない →押しボタン信号は、押しボタンだと気づかないことがある	<主な内容> ○保健福祉総合センター →病院側から駐車場への通路が見つけにくい ○池田市役所 →南西側の入り口に点字ブロックがない →北西側からは、中で動けずインフォメーションでサポートを依頼しないといけない →建物内全般に点字ブロックがない →入口から階段までの通路に障害物が多い ○その他（具体的な場所の記載なし） →靴の泥をぬぐうためのマットが点字ブロックの上に置いてある場合がある

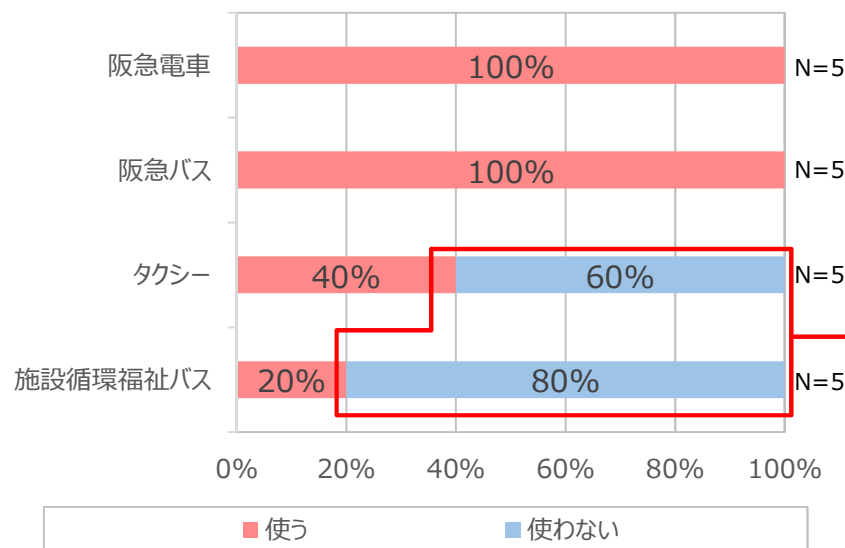
2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 視覚障がい者-アンケート結果

■公共交通で困ること

- ・タクシーは降ろされた後の方向のわかりにくいこと、福祉バスは利用できるものというイメージを持たれておらず、あまり利用されていない
- ・電車やバスでも、空席がを見つけにくい、ホームからの転落等が困ることとして挙げられている。

▼公共交通の利用有無



<利用しない理由>

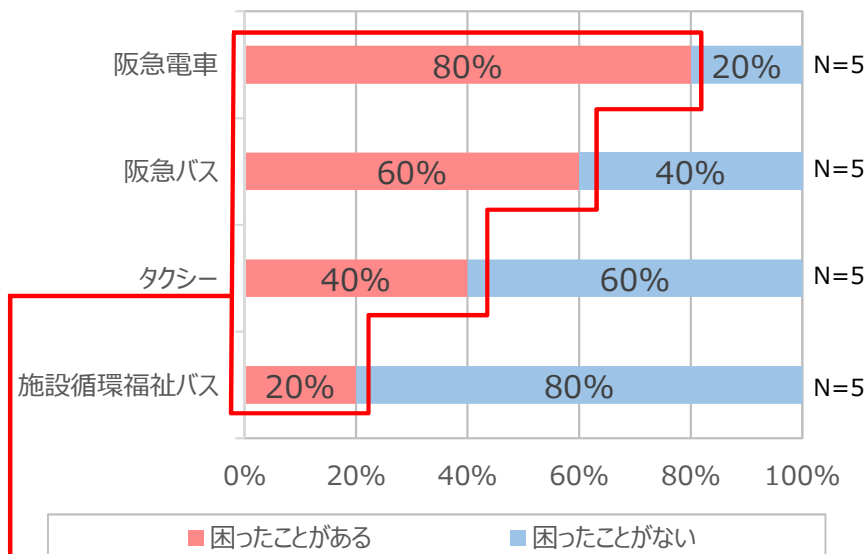
【タクシー】

- ・料金が高いため
- ・目的施設から少し離れた場所で下ろされた場合、どの方向にいけばよいか迷ってしまう可能性があるため
- ・乗り場がどこなのか把握していないため

【施設循環福祉バス】

- ・時間・経路、停留所を知らない
- ・高齢者が使うというイメージが強く、使うのに躊躇してしまう
- ・すぐ近くに阪急バスのバス停があるので、必要性を感じていない。

▼公共交通で困る箇所



<具体的な内容>

【阪急バス】

- ・池田駅のバス乗り場の位置がわかりづらい
- ・空席がを見つけにくい

【阪急電車】

- ・ホームから落ちたことがある
- ・ホーム足元の表示がコントラストが弱く、分かりにくい
- ・石橋駅内を通り抜けたいが、入場券が必要。また、道案内もしてもらえなかった

【タクシー】

- ・景色を見て道案内ができないため、目的地の説明がしにくい。
- ・目が不自由なため、遠回りされる時がある。

【施設循環福祉バス】

- ・停車ボタンがわかりにくい
- ・経路地がわかりにくい。

2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 高齢者-アンケート結果

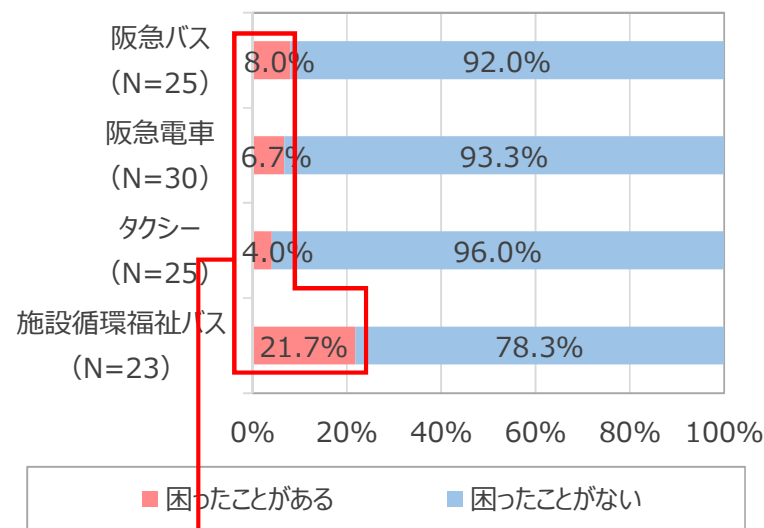
■ 移動や施設等で困ること

- ・自宅周辺や池田駅周辺等の歩道の狭さ、段差などを挙げる人が多い。
- ・公共交通については、福祉バスへの意見が多い。

▼ 移動先等で困る箇所

	困った場所	回答者数	具体的な内容
自宅 周辺	排水路（住吉地区）	1名	・防護柵がなく危険
	道路・歩道（鉢塚地区）	1名	・道路・歩道の幅が狭い、舗装が悪い ・歩道がない ・道路・歩道の自転車が速く危険
	池田会館（城南地区）	1名	・道路・歩道の幅が狭い、段差がある ・建物の出入口に段差がある ・エレベーターがない
池田 駅周 辺	阪急池田駅周辺のスーパー・商店	2名	・道路・歩道の幅が狭い ・道路・歩道の自転車が速く危険 ・建物に駐輪場がない、少ない
	池田市保健福祉総合センター	1名	・道路・歩道の段差がある、勾配がきつい
	友愛クラブの活動場所	1名	・建物に駐輪場がない・少ない
	三菱UFJ銀行前の歩道	1名	・点字ブロック上の「目の不自由な方のもので す。」と記載されているシールの更新が必要
その他	市内の歩道	1名	・歩道の段差が高すぎて、車椅子自動車の乗り入れが困難
	市内の共同利用施設	1名	・大会議室が2Fにあるので利用しにくい ・老人会の食事会で2Fだと階段が辛いと欠席される方が多い
	市南部	2名	・公共交通便が少ない ・バスの運行回数が少ないため、非常に外出しにくい
	公園	1名	・公園のベンチが少ない
	その他	1名	・シニアカーや車いす、歩行器などの利用もあるが、置き場がなく困ることもある。

▼ 公共交通で困る箇所



< 具体的な内容 >

【阪急バス】

- ・バス、前部の出入口の段差が大きい
- ・176号線、阪急バス車庫前のバス停の位置を変えてほしい朝車の混雑をまねく。

【阪急電車】

- ・エレベーターが使用しにくい

【タクシー】

- ・タクシー予約がとりにくい
- ・雨の日は特に困ります
- ・乗りたい時に乗れない場面がある

【施設循環福祉バス】

- ・本数が少ない
- ・回りすぎ、時間がかかる

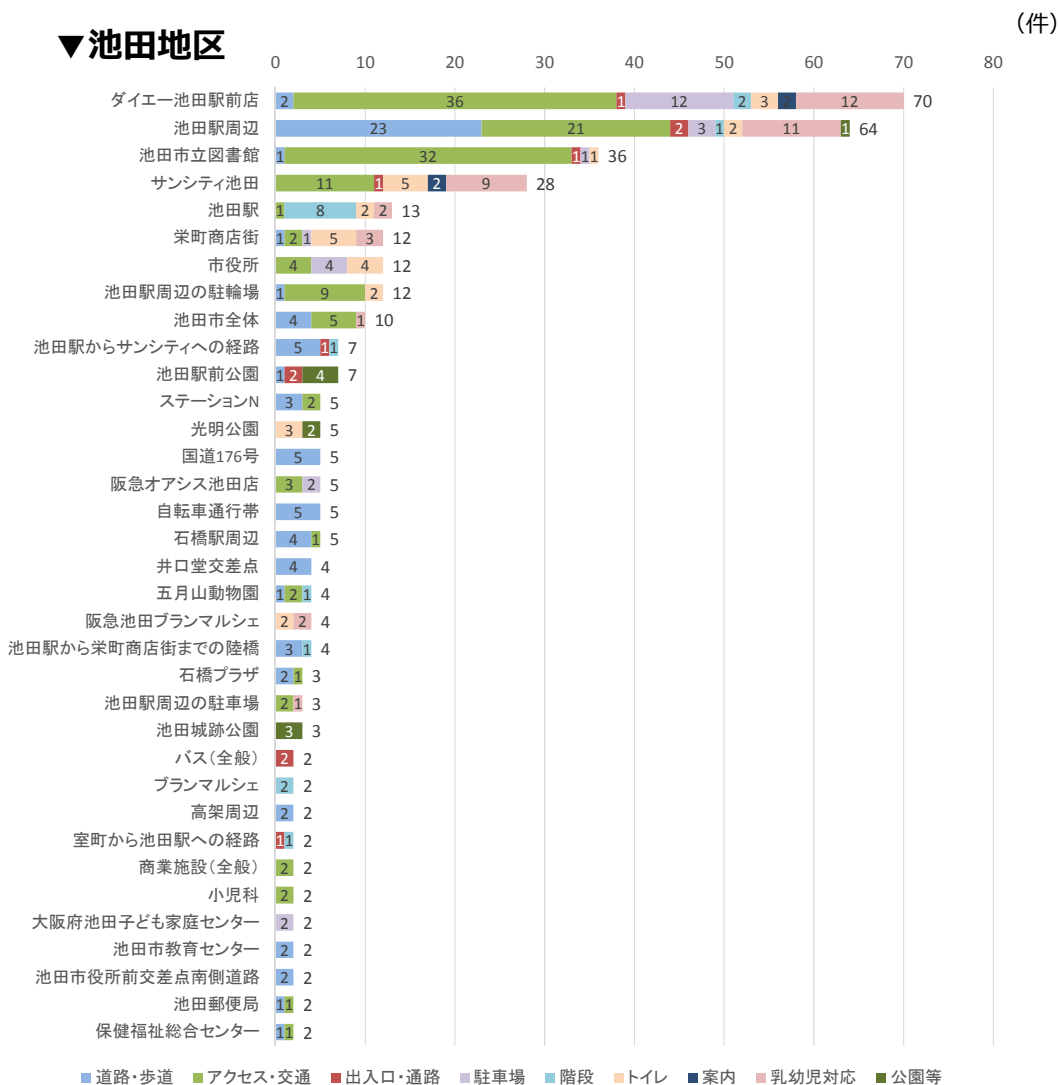
2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 妊産婦-アンケート結果

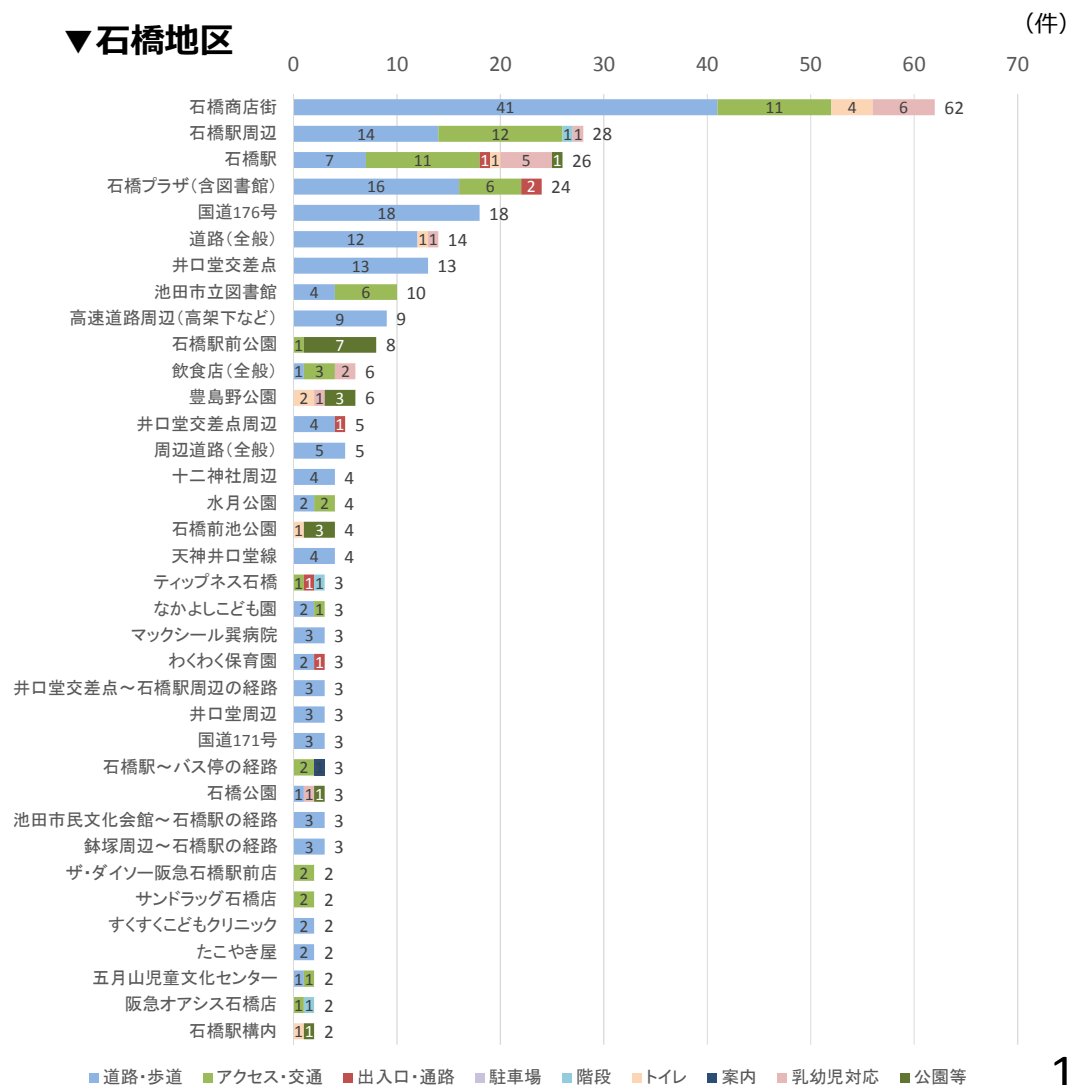
■ 困っていること（市内の移動・施設利用について）

- ・来訪が多い駅周辺の商業施設や商店街に対する意見が多い。池田病院なども上位となっている。
- ・全体に池田駅周辺ではアクセスや乳幼児対応、石橋駅では道路についての指摘が多い。

▼池田地区



▼石橋地区



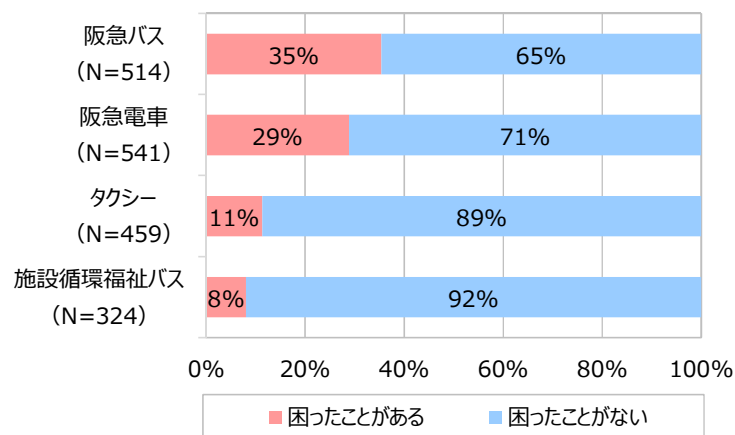
2. 現状・課題把握（各種調査）について

参考 妊産婦-アンケート結果

■ 困っていること（市内の公共交通のバリアフリーについて）

- ・公共交通では阪急バス・阪急電車で約7割が困ったことがあると回答している。
- ・バス車両がベビーカーで利用しにくい、駅内の上り下りが難しい、ホームと電車の隙間が危険などの意見が多い。

▼公共交通で困ったことがあるか



▼公共交通で困ること

交通機関	困った内容
阪急バス	・ベビーカーで利用しにくい（122名） ・段差等が大きく利用しにくい（10名） ・本数が少ない（16名） ・その他（35名）
阪急電車	・ベビーカーでの上り下り、駅の中の移動が難しい（73名） ・ホームと車両の隙間に落ちそうになる（33名） ・車両の中でベビーカーの場所がない（16名） ・気をつかって乗りにくい（4名） ・席を譲ってくれない（11名） ・情報発信の不足（7名） ・その他（17名）
タクシー	・呼んでもなかなか来ない（17名） ・マタニティタクシーがない（7名） ・駅前のタクシー乗り場に段差があり、利用しにくい（3名） ・その他（16名）
施設循環福祉バス	・どこを走っているのか、自分が利用できるのか分からない（9名） ・本数が少ない（5名） ・運転が荒い（2名） ・その他（7名）

2. 現状・課題把握（各種調査）について

- ・多様な観点・場面での問題点に加え、相反するニーズ、相互の誤解等もみられた

調査結果概要

		①身体障がい者	②視覚障がい者	③知的・精神・発達障がい者	④高齢者	⑤妊産婦	⑥外国人
当事者の 実態・ ニーズ	安全に 出かける られる	【行動範囲】 ・各駅周辺、五月山周辺 等 【道路・駅等】 ・道・歩道が狭い、舗装が悪い（車いすの転回ができない） ・施設入口等での段差、階段等 ・こまめに休めるベンチが欲しい 【施設等】 ・障がい者用駐車場が少ない、いつも埋まっている ・トイレが洋式でない箇所で困る ・小学校は各学校にエレベータが欲しい（できるだけ地元に行かせたい）	【行動範囲】 ・各駅周辺、五月山周辺 等 【道路・駅等】 ・道・歩道が狭く、自転車等と接触、障害物あり ・点字ブロックが途切れたり、配置が不適 ・歩車分離信号の斜め横断が危険 【施設等】 ・建物の入口が分かりにくい（保険福祉センター、市役所等） ・施設内での誘導がない（市役所など） ・エレベータ等の音がない（駅、市役所） ・表示のコントラストが弱い（池田病院） ・避難所に行くのをあきらめている	【道路・駅等】 ・人が集まる箇所を歩くのが難しいことがある 【施設等】 ・出かける場合、介助ベッドがあるトイレが必要（あるところに行け行けない） ・聴覚過敏も比較的多い	【行動範囲】 ・池田駅前商業施設 等 【道路・駅等】 ・歩道の狭さ、段差が多い ・歩道、商店街での自転車走行が危険 ・点字ブロックは高齢者には躓きやすい ・池田駅周辺の駐輪場が不足 【施設等】 ・会合が階段の上だと行けない場合もある	【行動範囲】 ・各駅周辺、五月山を中心に全体に分布 等 【道路・駅等】 ・歩道の狭さ、段差がある ・歩道、商店街での自転車走行が危険 ・ベビーカーでの駅の中の移動が難しい ・自宅周辺の街路に侵入する車が危険 【施設等】 ・駅周辺の駐輪場が狭く子どもを乗り降りさせるのが難しい、空いていない ・駐車場不足、料金が高い（駅周辺、図書館利用時等）	【行動範囲】 ・池田駅前商業施設、等 【施設等】 ・市役所で言葉が通じない ・案内標識が日本語で分からない
	でかけ やすく 活動し やすい	【調べる情報】 ・公共交通での行き方や駐車場の有無、エレベータの有無等を確認 ・施設HPなどを見る 【交通】 ・公共交通や車（自分・送迎）で移動 ・電車バスは乗客等に迷惑がかけられると考え利用しない人がある ・車いすでタクシーに断られる場合あり ・福祉バスが使いにくい →障がい者の席を健常者が利用している →クレームを言われたことがある →利用できると知らなかった	【調べる情報】 ・公共交通での行き方や案内受付の有無を確認 ・受付または施設HPなどを見る 【交通】 ・公共交通や車（送迎）で移動 ・バスの乗り場や空席が分かりにくい ・ホームの表示が分かりにくく、落下の危険もある ・タクシーは降りた後が困るため使いにくい ・福祉バスが使いにくい	【調べる情報】 ・行きたい施設は下見が必要 ・当事者に理解してもらうには、図解、視覚化が必要 ・催しの情報がバラバラで見つけにくく、網羅的に発信してほしい（後から気づくことがある） 【交通】 ・家族や施設職員と一緒に公共交通か、車で移動 ・バスの乗務員で障がい理解がない方もいる ・ヘルプカードの理解が不足している 【対応】 ・コンビニではゆっくり対応してもらえない	【調べる情報】 ・公共交通での行き方やエレベータの有無を確認 ・知人に聞いたり、電話で施設への問い合わせが多い 【交通】 ・自転車、自動車の利用が多い ・バスの運行回数が少なく外出しにくい（南部） ・福祉バスに対する指摘が多い →時間がかかる →便数が少なく不便 ・シニアカーや車いす、歩行器などの置き場がなく困ることもある。	【調べる情報】 ・公共交通での行き方、駐車場の有無、エレベータの有無等を確認 ・施設HPなどで情報を集めている人が多い ・授乳室やエレベーターがどこにあるのか分からない、情報発信をしてほしい 【交通】 ・自転車、自動車の利用が多い ・妊娠時は自転車がダメなのでバスを使いたいが使えない ・池田病院、福祉センターへ乗り換えが必要、行きにくい ・ベビーカーでバスに乗りにくく、気を遣う ・電車やバスで席を譲ってもらえない ・タクシーを呼んでも来ない、つかまらない ・市内に妊婦タクシーがない ・福祉バスは利用できると思われていない 【対応】 ・駅周辺や図書館に授乳室がない ・子どもを連れていける店、メニューが少ない ・子ども服を売っている店が少ない	【対応】 ・ハラルフードを提供するレストランが少ない ・病院や役所でサポートがほしい
	活動し たくなる	・運動ができる機会、多様な人、地域との交流等が求められる ・一般企業で働くニーズも存在 ・身障者側も自立が必要で、障がい者への教育も必要	・一人で行けるから自立できる（主体的な行動や交流が、可能性を広げる）	・一般の方との交流もしたいが、一般的なルールが分からないので難しい面がある ・当事者それぞれの考え方があり、配慮が必要	・運動や健康づくりは特にしていない人や、月1回程度が多くを占める ・見守りを徹底してほしい	・室内で遊ばせられる場所が欲しい（駅周辺等） ・子どもと一緒に運動や活動できる機会があると良い ・同じ年代の子供、親で交流できると良い ・遊び場や活動の情報、情報交換できる機会が欲しい ・病児、病後保育の対応を充実してほしい	・子育てをしている人の集まりに参加したい
店舗の考え		・外国人の増加もあり、必要性が認識されつつあるが、個人商店では考えている余裕がなく、難しい面がある ・当事者にとって何が必要なのか、資金面でのサポート等が必要					

3. 意見の整理

- ・ いろいろな意見をどうとらえ、プランニングしていくのが難しい
- ・ すぐに対応できないことも多くあることを踏まえ、何を目指すか考えることが必要
⇒ 地域の活動団体との調査結果を踏まえた意見交換

地域団体との意見交換の実施

- ・ 市民団体「いけだんち」が、池田市におけるバリアフリーに興味のある団体や市民に声をかけ、意見交換会を実施。
- ・ 池田市より、バリアフリーマスタープランや、調査結果の情報提供を行い、意見交換を実施)

日時	場所	参加者
1/28 (火) 17:00～	楽食ばんまい	12名 ・活動団体 (いけだんち、トアエル、エコスタッフ、イケダ大学等) ・社会福祉法人、民間企業／市議会議員 ・池田市まちづくり・交通課
2/11 (火・祝) 10:00～	はぐのさと (旧伏尾台 小学校)	15名 ・活動団体 (いけだんち、伏尾台地域コミュニティ等) ・学生、民間企業 ・池田市まちづくり・交通課



「池田市バリアフリーマスタープラン」の内容と計画を理解し
よりよい池田市のバリアフリー化にむけてともに話し考えよう

池田市 都市建設部
まちづくり・交通課 担当

COMMUNITY CAFE&TALK

いけだんち
ikedanchi

バリアフリーカフェ

① 1.28 (火) 17-19時 @ 楽食ばんまい (鉢塚3-15-5A 手仕事屋やさいの広場2F)
② 2.11 (火祝) 10-12時 @ はぐのさと (伏尾台2-11 旧伏尾台小学校)

まちづくり・交通課のかたと
バリアフリーマスタープランの内容を確認し
当事者団体としての意見を伝えよう

世代を超えたシームレスな交流の場を作る「いけだんち」が開催する「いけだんちカフェ」。今回は令和2年度に策定される「池田市バリアフリーマスタープラン」について、池田市都市建設部 まちづくり・交通課のかたと内容をご説明いたします。当事者団体を運営されている皆さんとこの内容を共有し、それぞれが意識するバリアフリーの課題や意見を市に伝えるために企画されたこの企画。招待制ですので、奮ってご参加ください。

参加費 無料 お茶とお茶菓子をご用意してお待ちしています

「当事者団体の声を市に届けよう！」

「4. 連携推進部の役割について」

池田市バリアフリー推進協議会
令和元年度第2回(令和元年10月15日(火)開催)当日資料より引用

いけだんちカフェのお問い合わせ
いけだんちFacebookメッセージ
メール ikedanchi.info@gmail.com
または080-5003-7202(担当:園部)まで

3. 意見の整理

- ・相互理解が重要であり、常に話し合っていくことやこのような場を継続していくこと
- ・市民を育てていくことが必要 等の意見

意見概要

	主な意見
考えるべきこと	・障がい者等の孤立をどうするかを考えている。それぞれの人生のありかた、価値観の共有などに寄り添いたいと思っている。 ・伏尾台から池田市街地への車アクセスが、有料駐車場を使わざるを得ないなど不便であるため、川西の方へ行ってしまうなどの問題がある。若い人たちをまちに呼ぶのにどうするか考えていかないといけない。 ・トラブルの時にどうするのが問題と思う。災害に対するバリアフリーも考える必要がある。ネット上でどうなっているかわかる仕組みがあればいいが、高齢者にどう伝えるかも問題である。 ・運動会での障害物競走の呼び方を変えようというような話もある。こういうところからどのようにとらえるか掘り下げることができる。
結局、何が大事なのか	・バリアフリーの印象にズレがあるのではないかな。ある程度概念を共有し議論していくことも重要。 ・バリアフリーは異なる立場で便利・不便が違う。すべての立場に対応しようとすると必ず不満が出てくる。どうバランスを取るかが非常に難しく、この点の共通認識を持たないと進まないと感じている。 ・現状マイナスになっているところを埋めながらゼロにしていくところがバリアフリーで、そこからその上にある個性を生かして一人一人が輝けるユニバーサルな社会にしていこうということだと思う。 ・なぜ共生社会でないといけないのかを考えると、相互理解なく差別・線引きしてしまう社会・暮らしのあり方というのが、本来きちんと関わりあうことで得られる経験とか蓄積を奪ってしまうということではないか。 ・常に話し合いが必要で、話してみないとわからない。例えばイタリアでは古い建物が多く、道は凸凹だが、みんながサッと手伝ってくれるし、それが子供の時から身についている。ハードは整っていなくてもやっていける。バリアフリーを考えるということは他者のことを考えるということだと思う。
バリアフリー・相互理解の進め方	・体験や授業があれば相互理解の種を蒔くことができる ・どう整備したら良いか立場によって違うから、まずは相互理解が必要。例えば「オープンストリートマップ」のマッピングパーティーのような形で、当事者の方たちの活動したい、しやすいルート等を共有していくと、効果的な整備ができるようになっていくのではないかな。 ・この会を開催したことで分かっていると思っていたこともそうでなかったりという気づきがあった。今はこのような機会をあきらめずに続け、まきこんでいく人を増やしていくことが大事だと思った。 ・当事者がこのような場に入っていることでコミュニケーションが取れて、やりやすくなっていくのではないかなと感じる。例えば、子育てのことだけを聞いていると他が不便になるかもしれない。コミュニケーションが取れればお互いにフォローしあえるようになると思う。 ・問題は心のバリアがあることと考える。防犯の意味も込めて、自身は誰にでも挨拶をすることを心がけている。そうすることで住民の優しさが出てくると思うので、小さいことから始めていい街にしたい。 ・例えば聴覚障がい者とは健常者も手話を覚えることでコミュニケーションを図ることができる。このような歩み寄りが大事だと思った。 ・折り合いがつかないことも、マッスルスーツやスマホと連携した白杖などを使って補える部分もあるのではないかな。 ・交流イベントで、自ずと会話が発生するような場を仕掛けたりすることも一つの道かなと思う。
計画の進め方	・このようなテーマでは分野や課を横断したプロジェクトチームを立ち上げる必要があり、柔軟的横断的に解決し、有用に予算を使うべき。 ・計画が進んでいる地域では、市民が育っている。バリアフリーも全住民、外から来た人に関わることであり、プレイヤーとなるような市民を生み出す必要があると考える。 ・行政がやることは完璧でないといけないと思われる気がするが、市民も意識・行動できる部分が大きい。一緒に考えて行けたらいい。

3. 意見の整理

- これらの結果を踏まえ、表出している問題一つ一つへの対応を考える前に、
 - 目指す方向の整理
 - それに対し、現状がなぜそうなっているのかの考察・分析を実施した上で課題を整理

目指す方向の整理

差別解消法、バリアフリー法改正等

池田の状況（各種調査結果を踏まえて）

○外出等での困りごとがあり、それぞれが活動できるよう状況を整えていくことは、やはり重要

しかしすぐには難しい部分もあり…、またそれ以前に、

○相互の誤解や分断等もみられる一方、もっと交流したいニーズもある

・公共交通を遠慮して利用できない状態
／身体障がい者・妊産婦
・福祉バスに関わる、健常者への不信
／身体障がい者・妊産婦
・高齢者や外国人対応ばかりではないかという意見
／妊産婦
・障がい者も甘えている面もある／身体障がい者
・知人の口コミに頼る情報収集／高齢者

・運動に加え、交流や就職したい
ニーズもあり／身体障がい者
・見守りが求められている／高齢者
・気軽に子どもが遊べる場、交流
の場が求められる／妊産婦

○多様な資源、想いの存在

・多様な人的資源、蓄積が存在
・つながり、お互いに学ぶ
観点から活動を展開

さらに…

○主体的・自立的な交流が、まちの可能性につながる

・一人で行けるから自立できる／視覚障がい者

環境を整えることも大事だが、
それを目的に考えていれば
良いのではない？

これが、誰もが生き生きと
くらせる社会につながる？

めざすべきは、一人ひとりが自立して関わりあうことができ、
つながりやまちが深まること？ → そのためにバリアを除いていく

それを促す資源や素地
が池田には存在

共生社会

・すべての人がお互いの
人権や尊厳を大切に、支え合
い、**誰もが生き生きとした人生**
を送ることができる社会
※首相官邸

めざす姿

ユニバーサルデザインと相互理解を推進し、共生社会とダイバーシティを実現するまち

～地域の多様な人材、活動を生かしてお互いが理解を深めながら関わりあうことができ、暮らして、訪れて“おもしろい”まちに～



3. 意見の整理

現状の考察・分析

①行動範囲の広がり・格差あり

- ・H18基本構想のエリア外でも行動
- ・高齢者の行く場所は池田駅前に集中

②対応すべき範囲の整理、利用者目線でのチェックが不十分

- ・H18基本構想を踏まえ整備を進めてきたが、情報収集や利用者目線でのチェック・確認が不十分なことで、できていないこと、機能が不十分なもの等が存在
- ・H18基本構想に設定されていない、出発地点、自宅側からの対応は十分されていない
- ・災害時の対応が不十分

③市街地がコンパクトで余裕が少ない特性

- ・狭い市街地に交通機能、都市機能が集中しており、物理的な条件が整いにくい

④実態・問題を網羅的に把握することが難しい

- ・利用者に多様な特性、視点があり全てを把握することが困難
- ・社会的な動向によっても変化（現状ですべて把握できているとは考えにくい）

⑤コンフリクトの存在

- ・障害等の特性から必要な対応が相反するものとなるケースがあり、コンフリクトが発生（例：点字ブロックの設置、歩車分離信号）

⑥相互の信頼・理解不足

- ・障がい者等が躊躇せざるを得ないような状況が発生
- ・空間等が足りない状況で、上手な利用、譲り合いなどができていない状況

⑩交流に対するニーズは多く存在

- ・運動や自由に参加できる場から、就職まで、多様な交流に対するニーズがある

⑦配慮がメリット・実施可能なものとして捉えられていない（店舗等）

- ・障がい者等への配慮することの必要性は感じているが、負荷もありメリットとしてとらえられる状況にない
- ・やりたくてもどうすればいいかわからない場合もある

⑧やっても十分伝えられていないものがある

- ・エレベーターの場所が分かりにくい
- ・催しの情報がバラバラで見つけにくい

⑨既存の資源が十分に生かしていない

- ・福祉バスは、本来の主旨に対して、中途半端な利用のされ方となっている
- ・様々な地域活動がなされているが情報の不足感、機会へのニーズが多い

	①身体障がい者	②視覚障がい者	③知的・精神・発達障がい者	④高齢者	⑤妊産婦	⑥外国人
安全に出かけられる	【行動範囲】 各駅周辺、五月山周辺 等 【道路・駅等】 ・道・歩道が狭い、舗装が悪い（車いすの転回ができない） ・施設入口等での段差、階段等 ・こまめに休めるベンチが欲しい 【施設等】 ・障がい者用駐車場が少ない ・トイレが洋式でない箇所での困り ・小学校は各学区にエレベーターが欲しい（できるだけ地元に行かせたい）	【行動範囲】 各駅周辺、五月山周辺 等 【道路・駅等】 ・道・歩道が狭く、自転車等と接触、障害物あり ・点字ブロックが途切れたり、配置が不適 ・歩車分離信号の斜め横断が危険 【施設等】 ・建物の入口が分かりにくい（保険福祉センター、市役所等） ・施設内での誘導がない（市役所など） ・エレベーターの音が弱い（駅、市役所） ・表示のコントラストが弱い（池田病院） ・避難所に行くのをあきらめている	【道路・駅等】 ・人が集まる箇所を歩くのが難しいことがある 【施設等】 ・出かける場合、介助ベッドがあるトイレが必要（あるところしか行けない） ・聴覚過敏も比較的多い	【行動範囲】 池田駅前商業施設 等 【道路・駅等】 ・歩道の狭さ、段差が多い ・歩道、商店街での自転車走行が危険 ・点字ブロックは高齢者には踏きやすい ・池田駅周辺の駐輪場が不足 【施設等】 ・合点が階段の上だと行けない場合もある	【行動範囲】 各駅周辺、五月山を中心に全体に分布 等 【道路・駅等】 ・歩道の狭さ、段差がある ・歩道、商店街での自転車走行が危険 ・ベビーカーでの駅の中の移動が難しい ・自宅周辺の街路に侵入する車が危険 【施設等】 ・駅周辺の駐輪場が狭く子どもを乗り降りさせるのが難しい、空いていない ・駐車場不足、料金が高い（駅周辺、図書館利用時等）	【施設等】 ・市役所で言葉が通じない ・案内標識が日本語で分らない
事の実態・ニーズ	【調べ情報】 ・公共交通での行き方や駐車場の有無、エレベーターの有無を確認 ・施設HPなどを見る 【交通】 ・公共交通や車（自分・送迎）で移動 ・電車バスは乗客等に迷惑がかかると思われ利用しない人がいる ・車いすタクシーに断られる場合あり ・福祉バスが欲しい →障がい者の席を健康者が利用している →「クレーム」を言われたことがある →利用できると思わなかった	【調べ情報】 ・公共交通での行き方や案内受付の有無を確認 ・受付または施設HPなどを見る 【交通】 ・公共交通や車（送迎）で移動 ・バスの乗り場や空席が分かりにくい ・ホームの表示が分かりにくく、落下の危険もある ・タクシーは降りた後が困るため使えない ・福祉バスが欲しい	【調べ情報】 ・行きたい施設は下見が必要 ・当事者に理解してもらうには、図解、視覚化が必要 ・催しの情報がバラバラで見つけにくく、網羅的に発信してほしい（後から気づくことがある） 【交通】 ・家族や施設職員と一緒に公共交通、車で移動 ・バスの乗降場が障がい者に理解が難しい ・ヘルプカードの理解が不足している	【調べ情報】 ・公共交通での行き方やエレベーターの有無を確認 ・知人に聞いたり、電話で施設への問い合わせが多い 【交通】 ・自転車、自動車の利用が多い ・バスの運行回数が少なく外出しにくい（南部） ・福祉バスに対する指摘が多い →時間が少なくて不便 →便数が少なく不便 ・シニアカーや車いす、歩行器等の置き場がなく困ることもある	【調べ情報】 ・公共交通での行き方、駐車場の有無、エレベーターの有無を確認 ・施設HPなどで情報を集めている人が多い ・授乳室やエレベーターがどこにあるのかわからない →情報発信をしてほしい 【交通】 ・自転車、自動車の利用が多い ・妊婦時は自家用車がメインでバスを使いたいが使えない ・池田病院、福祉センターへ乗り換えが必要、行きにくい ・ベビーカーでバスに乗りこむ、気を遣う ・電車やバスで席を譲ってもらえない →タクシーを呼んでも来ない、つかまらない ・市内に経路タクシーがない ・福祉バスは利用できず思われない	【調べ情報】 ・福祉バスは、本来の主旨に対して、中途半端な利用のされ方となっている 【交通】 ・子どもを連れている店、メニューが少ない →子ども服を着ている店が少ない
活動したくなる	【活動】 ・運動ができる機会、多様な人、地域との交流等が求められる →一般企業で働くニーズも障がい者側も自立が必要で、障がい者の教育も必要	【活動】 ・一人でできるから自立できる（主体的な行動や交流が、可能性を広げる）	【活動】 ・一般の方との交流もしたいが、一般的なルールが分からないので難しい面がある ・当事者でそれぞれの考え方があり、配慮が必要	【活動】 ・運動や健康づくりは特にしていない人 →月1回程度が多くを占める ・見守りを徹底してほしい	【活動】 ・室内で遊ばせられる場所が欲しい（駅周辺等） ・子どもと一緒に運動や活動できる機会があると良い →同じ年代の子供、親で交流できる良い遊び場や活動の場、情報交換できる機会が欲しい ・育児、病後保育の対応を充実してほしい	【活動】 ・子育てをされている人の集まりに参加したい
店舗の考え	【何が大事か】 ・現状マイナスイメージを埋めながらゼロにしたいところがあり、そこからその上にある個性を生かして一人一人が輝けるユニバーサルな社会にしていこう →共生社会を考えたければ、相互理解なく差別・排外性が出てしまう社会、暮らしのあり方というの、本来きちんと関わりあうことで得られる経験と価値を身につけようということでは →常に話し合いが必要で、話し合いがないとわからない、ハードは整っていないとやらない。バリアフリーを考えると、これは他者のことを考えるということ 【進め方】 →今はこの機会をあくまでも活用し、まきこんでいく人を増やしていくことが大事。当事者参加で議論していくことが必要 →計画が進んでいる地域では、市民が育っている。バリアフリーも全住民、外から来た人に関わることであり、プレイヤーとなるような市民を生み出す必要があると考える →マッスルスポーツやスマホと連携した技術の活用も必要とされている 【その他】 →トラブルの時にどうするか					

⑪自立的な交流がまちの可能性につながる

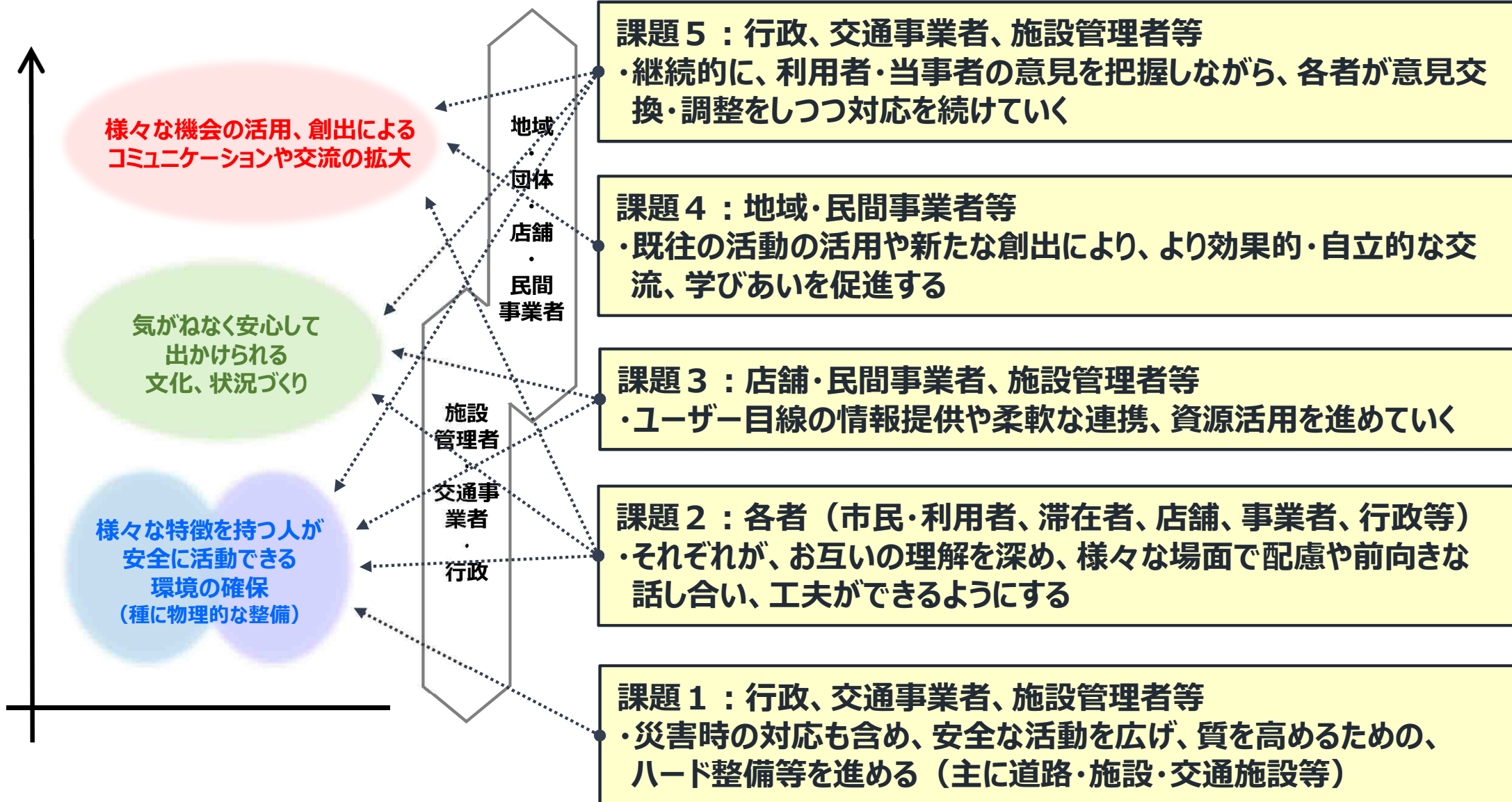
- ・一人で出かけられることが大事
- ・コミュニケーション・関わりが自立、まちの可能性の拡大に

⑫当事者の参加・議論の継続が必要

- ・常に話し合いが必要
- ・相互理解に向けて議論を続けていくこと、当事者参加で議論していくことが必要

3. 意見の整理

課題の整理



4. 位置づけた取り組み等の内容

- ・課題に対し、可能な整備の推進に加え、相互理解醸成、継続的な意見交換等から、連携・交流創出、技術活用等につなげていく方針とした

課題1：行政、交通事業者、施設管理者等
・災害時の対応も含め、安全な活動を広げ、質を高めるための、ハード整備等を進める

取組方針1：道路や駅等において、当事者参画で**確保すべき機能・環境や各者の役割**を明確化し、可能な整備を進める

取組方針2：必要に応じ、**先進技術**を活用した課題解決を図る

課題2：各者
・それぞれが、お互いの理解を深め、様々な場面で配慮や前向きな話し合い、工夫ができるようにする

取組方針3：多様な市民や店舗・民間事業者、施設管理者等のコミュニケーションを促し、**相互理解**やユニバーサルマナーの向上を図る

課題3：店舗・民間事業者、施設管理者等
・ユーザー目線の情報提供や連携、資源活用を進めていく

取組方針4：店舗・民間事業者、施設管理者等が分かりやすく**統合的な情報提供、相互連携**をしやすい状況、仕組みづくり

取組方針5：店舗や民間事業者、団体等による配慮や支援の取り組みが**メリット・やりがい**となるような後押しを行う

課題4：地域・民間事業者等
・既往の活動の活用や新たな創出により、より効果的・自立的な交流、学びあいを促進する

取組方針6：地域や民間事業者等の既往の活動等の連携や新たな取り組みの創出による、**交流の場づくり**の後押し、支援

課題5：行政、交通事業者、施設管理者等
・継続的に、利用者・当事者の意見を把握しながら、各者が意見交換・調整をしつつ対応を続けていく

取組方針7：当事者・利用者の意見、利用実態等を**継続的に把握**し、環境整備や情報提供、連携創出等に適宜対応していく

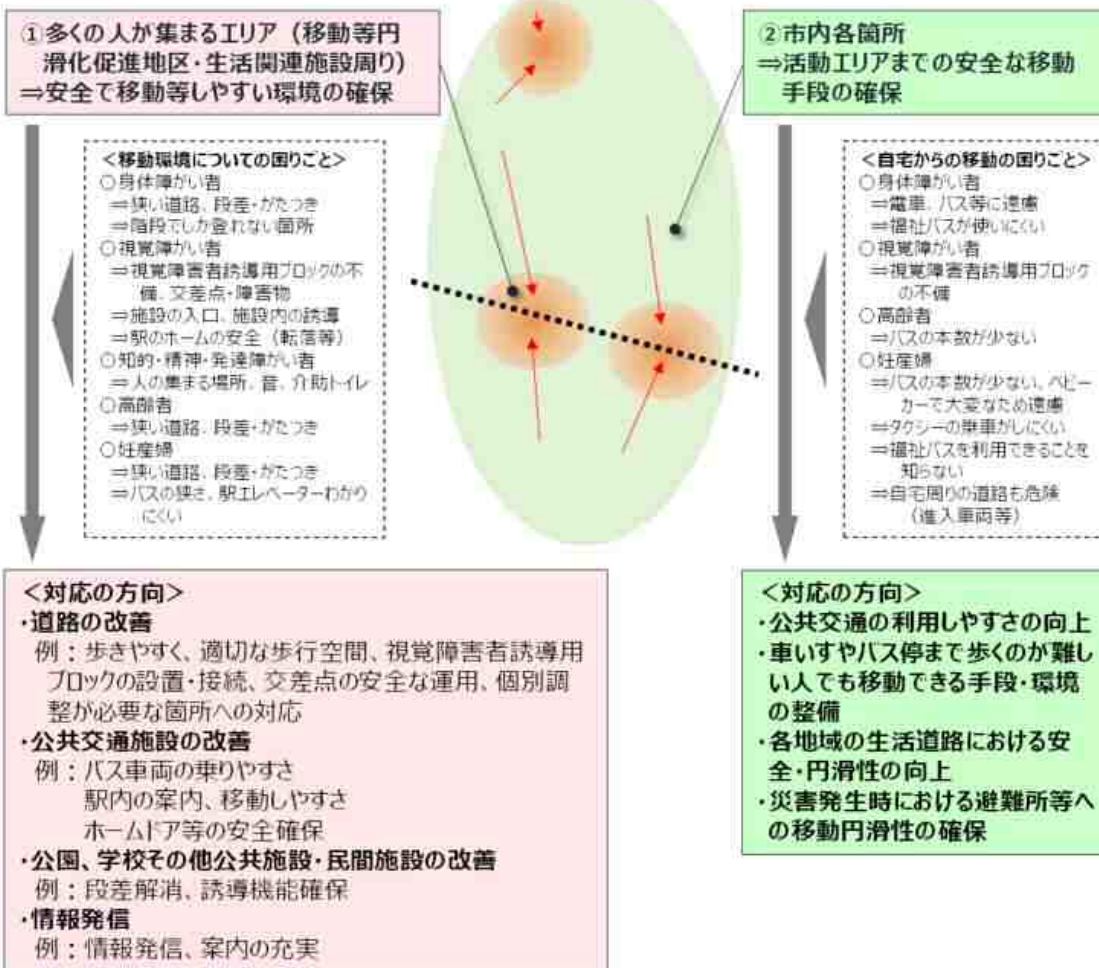
4. 位置づけた取り組み等の内容

- ・ 効率的・効果的に対応するため、人が集まるエリアとそこまでの移動に分けて、環境整備や対応を進める

環境整備等観点

観点① 多くの人が集まるエリア（移動等円滑化促進地区・生活関連施設周り）内における、安全で移動等しやすい環境の確保

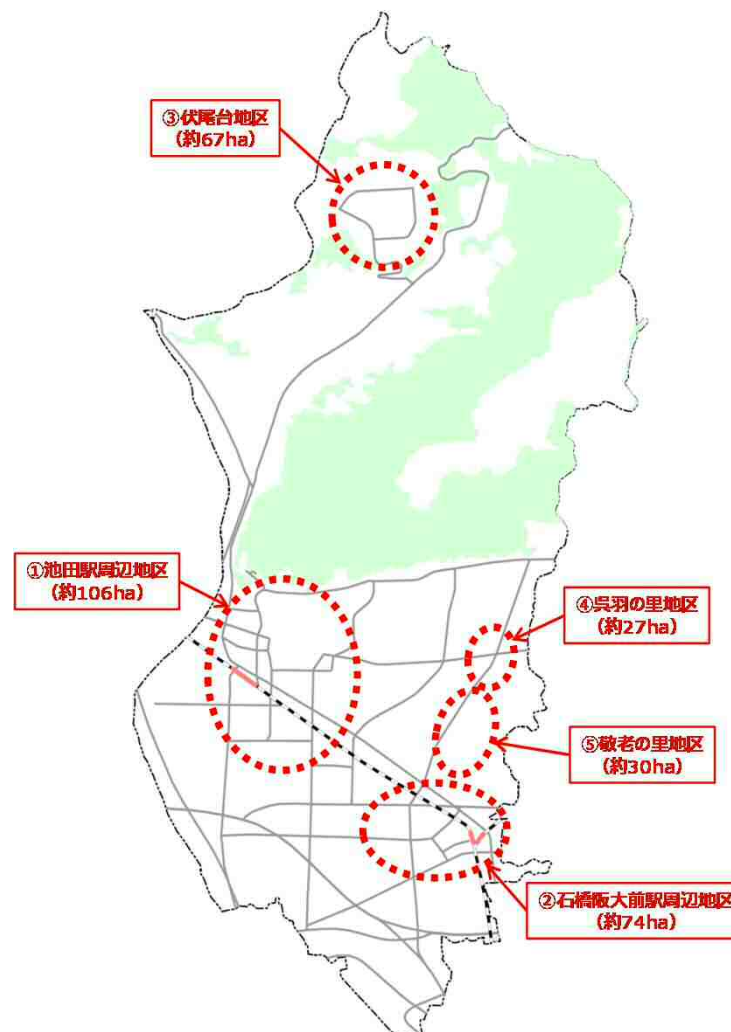
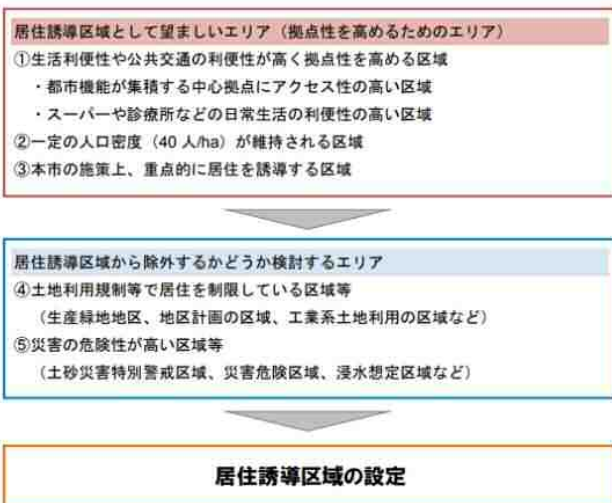
観点② 市内各箇所から、活動エリアまでの安全な移動手段の確保



4. 位置づけた取り組み等の内容

- ・人が集まるエリアとして、H18基本構想重点整備地区に加え、立地適正化計画の居住誘導区域も踏まえて設定
- ・今後、基本構想の策定を進め、対応を測る

居住誘導区域の設置



移動円滑化促進地区等の設置

① H18 基本構想における主な施設及び立地適正化計画における誘導施設に加え、アンケート調査で抽出したよく行く施設・訪めている施設などを踏まえ、生活関連施設候補を選定。

② H18 基本構想における重点整備地区及び立地適正化計画における居住誘導区域をベースに、徒歩圏内に①の生活関連施設候補のうち旅客施設又は特別特定建築物に該当するものがおおむね3以上存在する範囲を抽出

③ ②で設定した範囲を概ね含むエリアを、行政界や道路、河川等を境界として移動等円滑化促進地区を設定

④ ③で設定した移動等円滑化促進地区内に存する施設のうち、一定以上の規模かつ移動等円滑化を促進すべき施設を、生活関連施設として位置づけ、施設の用途により分類

4. 位置づけた取り組み等の内容

- ・その他、マップによる情報提供、既存の取り組みを活かした啓発活動等を進めながら、より効果的な取り組みへ展開

5-3 当事者参画による課題等の明確化と整備の推進

(3) 関係機関等と連携したバリアフリーマップ等の作成・発信

市内の各施設や道路等のバリアフリー状況について、ワンストップで情報発信できるプラットフォームなどについて、共生社会ホストタウンでの関連取組を活かしながら、関係者との連携により検討します。その際、新しい生活様式も踏まえた外出・活動促進に向けた各種情報の連携、災害時の避難所の情報の提供等についても考慮していきます。

バリアフリー法第24条の8（施設設置管理者による市町村に対する情報の提供）

公共交通事業者等及び道路管理者は、前条の規定により情報の収集、整理及び提供を行う市町村の求めがあったときは、主務省令で定めるところにより、高齢者、障害者等が旅客施設及び特定道路を利用するために必要となる情報を当該市町村に提供しなければならない。

2 路外駐車場管理者等、公園管理者等及び建築主等は、前条の規定により情報の収集、整理及び提供を行う市町村の求めがあったときは、主務省令で定めるところにより、高齢者、障害者等が特定路外駐車場[※]、特定公園施設[※]及び特別特定建築物[※]を利用するために必要となる情報を当該市町村に提供するよう努めなければならない。

- ※1 500㎡以上の駐車場
- ※2 移動等円滑化に特に必要な公園施設（園路、広場、休憩所、便所等）
- ※3 不特定かつ多数者が利用し、又は高齢者・障がい者等が利用する、移動等円滑化に特に必要な建築物（特別支援学校、病院・診療所、集会場、百貨店、ホテル・旅館、保健所・税務署等、老人ホーム・福祉ホーム、体育館、博物館等、飲食店、サービス業を営む店舗、交通施設、公衆便所、公共用歩道等）

▼バリアフリーマップの事例（大阪府高槻市）



出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省）

5-5 多様な関係者のコミュニケーションによる相互理解・ユニバーサルマナーの向上

(1) 交通や地域社会に関する教育機会を活かした啓発活動

本市で現在実施されている学校教育における交通安全教室や自転車安全教室、環境学習、職場体験等や、社会科における安全・地図づくり等の学習（4年）等の機会において、バリアフリーや相互理解の観点からそれぞれの学習の狙いを深めていくことを狙いとして、各者と協力、連携することを通じてバリアフリーやユニバーサルマナーの認知、意識醸成に取り組みます。

▼自転車安全教室・免許証授与



出典：池田市教育委員会

(2) 関連するイベント等を活かした市民や事業者等への発信、雰囲気づくり（共生社会ホストタウンとの連動等）

共生社会の実現に向けた各種関連するイベント等の機会を活用し、市民や交通事業者、店舗・施設等に対する情報発信や意識醸成等の雰囲気づくりに取り組みます。

(3) 支援組織等と連携した、地域内のコミュニケーションや相互理解の創出・活性化（災害時等も含めて）

共生社会ホストタウンでの関連取組の検討機会や、池田市内において地域活動に取り組んでいる支援組織の活動等と連携し、地域内のコミュニケーションや相互理解の場を創出、継続していくための支援を行い、地域における相互理解を深めていくための素地づくりを進めます。

▼計画策定に際し地域で実施されたコミュニケーション機会の例

